

首都圏から羽田空港・関西国際空港を利用して関西地区への旅行を提案します！

首都圏キャンペーン『羽田 関空 南海電車で大阪・高野山へ』を実施

京急品川駅で10月1日(日)～3日(火)まで

南海電気鉄道株式会社
関西国際空港株式会社
京浜急行電鉄株式会社

南海電気鉄道株式会社(本社：大阪市中央区、社長：山中 諄)と、関西国際空港株式会社(本社：大阪府泉佐野市、社長：村山 敦)は、京浜急行電鉄株式会社(本社：東京都港区、社長：石渡 恒夫)と共同で、10月1日(日)～3日(火)までの3日間、首都圏キャンペーン『羽田 関空 南海電車で大阪・高野山へ』を実施します。

同キャンペーンは、首都圏から「羽田空港 関西国際空港」便を利用しての関西地区への旅行を提案することを目的としています。期間中は京急品川駅上りホームに特設PRブースを設置し、ブース周辺で南海と関西国際空港のチラシ配布などを実施します。

また、南海・関西国際空港共同による首都圏キャンペーンの実施は今回が初めてであり、関西国際空港から大阪・難波までは、空港特急「ラピート」の利用で最短38分という利便性の高さを両社一体となってPRいたします。

なお、京急は今年3月30日(木)から4月1日(土)までの3日間、南海難波駅において「羽田に着いたら京急電車に乗ろう！キャンペーン」を実施しました。

キャンペーンの概要は別紙のとおりです。



南海電気鉄道の空港特急「ラピート」



首都圏からの需要促進を図る関西国際空港

別紙

首都圏キャンペーン『羽田 関空 南海電車で大阪・高野山へ』の概要

1. 名称：首都圏キャンペーン『羽田 関空 南海電車で大阪・高野山へ』
2. 開催日時：2006年10月1日（日）～3日（火）
10時00分～17時00分（3日は15時00分まで）
3. 実施内容：首都圏から「羽田空港 関西国際空港」便を利用しての関西地区への旅行を提案することを目的に、京急品川駅上りホームにPRブースを設置、南海・関西国際空港のチラシ配布などを実施し、首都圏での両社の利用促進を図ります。なお、同キャンペーンは南海の女性車掌および関西空港案内係が制服を着用してPRを実施します。
4. 実施場所：京急線品川駅上りホーム
5. 配布物：

南海

大阪・和歌山旅客誘致パンフレット
「南海特急で行く世界遺産高野山」など

関空会社

関西国際空港旅客誘致パンフレット
「羽田 関空 海外へ」「関空情報誌 KanKuu」など
7. 配布数：15,000枚 アンケート300サンプル
8. 主催：南海電気鉄道株式会社・関西国際空港株式会社
9. 協力：京浜急行電鉄株式会社
10. 企画運営：株式会社京急アドエンタープライズ

参 考

南海電気鉄道株式会社について

大阪ミナミの中心地「難波」から関西国際空港、和歌山市および世界遺産・高野山へ運行しています。空港特急「ラピート」は難波 関西空港間を最短38分で結んでいます。

空港特急「ラピート」について

運賃

難波～関西空港 大人 / 890円 小児 / 450円

特急券

大人 / 500円 小児 / 250円

(スーパーシートは特別車両料金200円が別途必要)

営業運転開始日

1994年9月4日

車両特徴

関西空港へアクセスする空港特急(難波～関西空港駅間を直通運転)として、1994年9月に36両(6両×6編成)を新造しました。南海のイメージリーダーカーであり、1995年にはブルーリボン賞を受賞しました。楕円を基本形状として採用し、航空機の流線形とSLが持つ力強さのイメージを融合させた従来の概念にない発想でデザインを採用しています。座席はスーパーシートとレギュラーシートの2タイプがあり、いずれも車両幅を従来車よりも拡張(約10cm)して居住性の向上をはかったほか、楕円形の窓やハットラック形式の荷棚などにより航空機内のイメージを醸し出しています。

関西国際空港について

1994年9月、大阪湾南東部泉州沖約5kmの海上に建設された海上空港。1つのターミナルビル内に国際線と国内線があり、乗り継ぎ利便性に優れています。現在の3,500mの滑走路に加え、2007年8月2日に4,000mの第2滑走路がオープン予定。

「お客様第一主義」を掲げており、英国の調査会社による世界の空港ランキング「AIRPORT of the YEAR 2006」では、空港の清潔さや出入国時の手続きのスムーズさ等が評価され総合第4位にランクされました。2005年9月から2006年5月までの9ヶ月間、90ヶ国以上、約720万人からの投票結果によるもの。

<フライトネットワーク>

国際線ネットワークは世界31ヶ国・地域、71都市(2006年夏スケジュール)に及び、国内線は国内19都市(2006年9月現在)とを結んでいます。

<アクセス>

鉄道、リムジンバス、高速船等の多様なアクセスをもち、関西主要都市とを1時間前後で結びます。

<首都圏でのプロモーション>

充実した深夜便や独自路線を活用した関西空港経由の旅(「羽田 - 関空 - 海外へ」)を提案するなど、関西空港経由の利点をPRして首都圏からの需要促進を行っています。